

### オープンキャンパス 2024 「女子高校生のための理系進学のスズメ！」 紹介動画を公開しました。

KIT 男女共同参画推進センターでは、毎年夏に開催される本学のオープンキャンパスにあわせた協賛企画として、本学に在籍する女子学生が、オープンキャンパスに訪れる女子中高生に理系分野への大学進学について紹介してきました。2024 年度も昨年度同様、紹介資料をまとめた上で動画公開をしました。

今回、協力してくださった方は、次の4名です。

#### <リケジョ講座 紹介資料を作成してくださった方>

- 平井 星佳さん（大学院生・応用生物学専攻）
- 吉田 知未さん（大学院生・機能物質化学専攻）
- 丸橋 文さん（学部生・機械工学課程）
- 小森 葵さん（大学院生・建築学専攻）

4名から提供された資料には、理系分野に進もうと考えたきっかけ、京都工芸繊維大学のよいところ、現在の研究室の雰囲気など学業面のことだけでなく、サークル活動やアルバイトなど大学生活に関することも紹介されています。動画は、現在も公開しておりますので、本学または理系の大学への進学をお考えの方に、ぜひご紹介ください。

URL : <https://www.youtube.com/embed/bsWOOEFXSGI?si=G-49t1IKxVS1c9zS>



### 夢ナビ LIVE 「入試説明会では聞けない理系のキャンパスライフ！」 を開催しました。

令和6年10月19日（土）夢ナビライブ2024（主催：株式会社フロムページ）において、「入試説明会では聞けない理系のキャンパスライフ！」をオンラインで開催しました。本学女子学生が理系の大学生活を対談形式で紹介し、理系に興味を持ったきっかけは？受験はどうやって対策した？授業や研究室での過ごし方は？アルバイト、サークルはできる？夢は？など普段の入試説明会では聞けない生の学生の声を高校生に向けて発信しました。

#### <登壇者>

- 平井 星佳さん（大学院生・応用生物学専攻）
- 小森 葵さん（大学院生・建築学専攻）

説明会も盛況のうちに終了し、参加した高校生からは、

- ・アットホーム感が伝わってさらに京都工芸繊維大学に行きたいという思いが強くなりました
- ・学部生の大学院への進学率の高さに驚きました。
- ・「工芸繊維」大学という名前のイメージよりも工学系の学びが深い大学であることがわかってよかった。

等の感想が寄せられました。



## 「生理痛体験を通じた思い合い研修」を実施しました。

令和7年1月20日（月）生理や生理痛を経験したことのない男性をはじめ、女性間でも痛みに個人差があり認識の異なる生理痛の辛さについて理解を深める研修に、本学教職員等約20名が参加しました。本研修では、大阪ヒートクール株式会社が経済産業省 令和6年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」に採択された事業の一環として実施しているものであり、材料化学系 菅原徹 教授の協力を得て、本学で開催の運びとなりました。研修当日は、生理痛 VR 体験装置「ピリオノイド」を装着し、生理時に生じる腹部の痛みの疑似体験を行うとともに、体験後に、本体験を踏まえて良い学習・労務環境にするための対策を考えるワークショップを行いました。当日は、吉本昌広学長が研修の様子を見学された他、生理痛疑似体験にも参加しました。

参加者からは「生理痛に対する意識の持ち方が変わりました」「大学では女子学生や女性教員が少ないので、幅広く知る機会があれば良いと感じました」痛みの感じ方にとても大きな個人差があることを知って驚きました」痛みの感じ方にとても大きな個人差があることを知って驚きました」等の感想がありました。



## 仕事と生活の両立支援事業

### <研究支援員制度>

妊娠・出産・育児や介護などライフイベント期にある女性研究者等の研究活動を支援するため、大学院生等を研究支援員として配置することによって、ライフイベント期における研究活動の継続・進展を図る本学の制度です。男性研究者も利用できます。令和6年度利用状況

本学の常勤研究者であって、以下に掲げるいずれかの項目を満たしている方。

- ・妊娠中の女性研究者、または妊娠中の配偶者（事実上の婚姻関係を含む。研究職に限る。以下同じ。）を有する男性研究者
- ・女性研究者、または配偶者を有する男性研究者で、小学校6年生までの子を養育中の方
- ・女性研究者、または配偶者を有する男性研究者で、市区町村から要介護の認定を受けている親族（同居、別居は問わない）を介護している方
- ・男性研究者、かつ、父子家庭で小学校6年生までの子を養育中の方
- ・婚姻（事実上の婚姻関係を含む）をしていない男性研究者で、市区町村から要介護の認定を受けている父母（同居、別居は問わない）を介護している方
- ・その他、上記に準ずる理由により研究活動を行う時間が確保できない方

利用教員数	利用事由
7名（女性6名・男性1名）	育児6名・介護1名

### <育児支援>ベビーシッター育児支援事業

本学では教職員を対象に、国（内閣府）が委託し、公益社団法人全国保育サービス協会が行っているベビーシッター育児支援事業によるベビーシッター費用の一部補助（割引券）を行っています。

※ご利用については、KIT 男女共同参画推進センターへお問い合わせください。

～応援します！研究と生活の両立～ ◇◇京都工芸繊維大学 KIT 男女共同参画推進センター◇◇

住 所 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

Eメール sankaku@kit.ac.jp ホームページ <https://www.sankaku.kit.ac.jp/>